

集団接種事業協力者の皆様へ

スパイクボックス（モデルナ）ワクチン充填時の  
注意点について

令和4年4月12日

スパイクボックスはワクチンの解凍方法として

- ① 2℃～8℃/2時間30分
- ② 15℃～25℃/1時間 の二つの方法があります。

この解凍したものを常温に戻して（約30分間）から充填作業を始めますが、この常温に戻すところまでは甲府市の方が担当してくれています。

今回二つの会場責任者の方から、バイアル内に「キラキラしたもの」あるいは「ざらざらしたもの」があったとの報告を受けました。

おそらく完全に解凍されていないバイアルがあったと推測されます。

混和をする前の目視の点検でそのようなものを発見した場合は、あと数分放置してから作業をしてみてください。

なお、このワクチンの性状として「白色から微黄白色の懸濁液で白色若しくは半透明の微粒子を認めることがある」とありますので、メーカーに確認したところ「混和後も若干そのような状態であっても接種に影響はない」との回答を得ています。

（公社）甲府市薬剤師会  
会長 植松 俊彦